

不適切な保育等に係る再発防止策の取組結果について

令和 7 年 7 月 9 日の文教・福祉常任委員会にて報告いたしました、宇治市立保育所における不適切な保育等事案を受けて再発防止に取組んだ結果について報告いたします。

1 公立・民間共通の取組み

(1) 保育所等での虐待等に関する通報窓口の周知徹底

令和 7 年 7 月、市内保育施設に対し、あらためて通報窓口(保育支援課)の周知を行った。

令和 7 年 1 0 月に児童福祉法が改正され、虐待の通報義務等が規定されたことを受けて、市内保育施設に加えて市内の幼稚園に対し、通報窓口の連絡を行うとともに、市のホームページに通報窓口を掲載した。

(2) 「宇治市の保育所、認定こども園、幼稚園等における虐待の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」の作成及び周知

令和 7 年 8 月改訂、こども家庭庁「保育所や幼稚園等における虐待の防止及び発生時の対応等に関するガイドライン」を基に、公立保育所長会、民間保育園長会、教育委員会等での意見聴取を行ったうえで、令和 8 年 3 月に宇治市版のガイドラインを作成し、市内の就学前施設に対して配付した。

2 公立保育所における取組み

(1) 研修

ア 全員研修の実施

京都府保育協会主催の全6回にわたる研修を、ZOOM 又は動画視聴により、会計年度任用職員も対象に加えて受講した。

| ZOOM 研修実施日 | 研修テーマ |
|------------|--|
| 7月24日 | 子どもの権利から保育を考える ～子どもと大人は対等の人間～ |
| 8月6日 | 子どもの最善の利益の尊重・一人一人の子どもの発達保障 ～不適切な保育が起きない組織を作る～ |
| 9月30日 | 子どもの権利である食べるということ ～発達を理解し、人としての食を学ぶ～ |
| 10月23日 | 子どもの未来をひらく、保育者の役割について |
| 11月18日 | 誰もが幸せを感じて生きるための保育 ～不適切保育をなくすために～ |
| 12月23日 | 人間として子どもを尊敬する保育とは |

イ 大学教授等による専門的研修の実施

大学教授による専門的研修を対面により実施した。

実施日：令和8年2月21日（土）

テーマ：公立施設の役割と人権保育

講師：小崎恭弘氏（大阪教育大学教授）

参加者：59名（所長、所長補佐、保育士）

ウ 管理監督者研修の実施

職場環境をより良くするための研修として、職場のハラスメント対策をテーマに、管理監督者に加えて、その他の保育所職員も対象に研修を実施した。

実施日：令和8年1月31日（土）

テーマ：職場におけるハラスメント対策

～ハラスメントのない職場を目指して～

講師：涌井美和子氏（合同会社オフィス・プリズム）

参加者：45名（所長、所長補佐、保育士、作業技師）

(2) その他

ア 定期的な職場会議における保育の振り返りの徹底

令和7年7月、こども家庭庁のガイドライン及び「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を全保育士に配付し、職場会議でセルフチェックの結果を踏まえた意見交換を行った。

職場会議等において、定期的に日々の保育事例について保育士間で意見交換を行い、保育の振り返りを行うよう周知徹底を図った。

イ 保育支援課による各保育所の見回りや相談対応等の支援の強化

令和7年8月に福祉こども部の管理職が、全ての公立保育所を訪問し、保育現場の状況等について意見交換をした。

所長経験のある職員や保健師等の専門職等が、保育所での課題に対して訪問するなどして相談対応を実施した。

ウ 公開保育の実施

以下のとおり公開保育を実施した。

大久保保育所（令和7年12月25日（木）実施）

テーマ：生活力を育む保育

～多国籍の子どもたちと共に育ちあう保育をめざして～

講師：塘利枝子氏（同志社女子大学教授）

参加者：16名（保育所（園）6名、認定こども園5名、幼稚園2名、
小学校3名）

小倉双葉園保育所（令和8年2月20日（金）実施）

テーマ：乳幼児の主体性を育む保育者の関わり方

講師：大橋美智子氏

（京都府幼児教育センター架け橋期コーディネーター）

参加者：13名（保育所（園）6名、認定こども園6名、幼稚園1名）